



一般社団法人  
山口県作業療法士会

一般社団法人 山口県作業療法士会

それっちゃ

# Yamaguchi

No.361



それっちゃデジタル版

巻頭言	.....	2
研修会案内	.....	3
部会・部局より	.....	8
しっちょる	.....	13
編集後記	.....	14

## 巻頭言

## 人のつながり



一般社団法人 山口県作業療法士会  
副会長 中村 敏浩

昨年末、コ・メディカル学院で研修会が開催された。中国地区合同研修会は中国5県の輪番制で企画されるが今年度は山口県士会担当であった。「魅力ある県士会の未来を描く」というテーマで、なぜできなかったかという「過去の原因」を探るのではなく、どうなりたいか、何ができているかという「未来の姿」や「持っている強み」に注目して解決策を構築する「ソリューションフォーカス」の考え方をういた研修だった。講師には国際コーチング連盟プロフェッショナル認定コーチの上野和禎さん（ご本人の流儀で先生とは呼ばせないとのこと）をお招きした。上野さんは毎月エフエム KRY のラジオ番組に出演されており私自身「いちファン」であると同時に長くお世話になった方でもある。30年ほど前になるだろうか「リハビリテーション」という言葉も少しずつ一般に知られてきていたが「リハビリ＝機能訓練」感が強く、作業療法について認知されているとは言い難い時代だった。知ってもらうため、市の保健師さんを中心に講義や情報交換の場を設けていただいたが、そんな折、社会福祉士会の方から講義依頼をいただき「リハビリとは？」みたいな話をさせていただいた。その場に上野さんもおられ、ほどなくして連絡をいただいた。ご自宅に伺いリハビリをしてもらえないかという依頼だった。当時は介護保険施行のずっと前であり職場の許可を得てボランティアとしての訪問リハ出務であった。脳出血後で片麻痺症状の残る男性の叶えたい願いは「近く予定されている娘さんの挙式で父として新婦の手を引いて歩きたい」というものだった。分かったつもりで「リハビリは機能訓練ではない」と語っていた私に、上野さんは本当の意味での作業療法を教えてくれた恩人である。「叶えたい願いは意外に明確で具体的なことも多く願いが叶うことはその後の時間を少し幸せにすること」「支援者ができるようになってほしいことはご本人の叶えたい願いと必ずしも一致しないこと」という至極当たり前なことに気づくことができた。それは今でも「できなくて困ること」より「できると楽しいこと幸せなこと」の方が大切であることも多い」という私の考えの基本である。多くの人たちの支えのおかげで私は OT という職を自分なりに全うできたと言ってもそろそろ怒られない時期かなあと近ごろ思ったりする。OT という仕事は人のつながりなしには成立しない。自分だけで成果を上げられることは少なく「人と人」「人とモノ」「人と何か」それらをつなぐ“鏝（かすがい）”となることが OT に求められる大きな役割の一つではないかと思う。

そして、私の持っている強みは、紛れもなく出会い支えてくれた多くの人たちである。

# 研修会案内

## 県士会主催の研修会案内

### 「令和7年度MTDLP事例検討会」のご案内

1. 日 時:令和8年2月21日(土) 受付8:45 開始9:00~12:00
2. 開催場所:山口県立こころの医療センター 会議室(宇部市大字東岐波4004-2)
3. 事例検討会ファシリテーター:下関リハビリテーション病院 山田 晃基氏(MTDLP指導者)  
徳山中央病院 鈴木 健朗氏(MTDLP指導者)
4. 定 員:発表者 4名(最大) 聴講者 制限なし
5. 対 象:協会員、県士会会員で事例発表する方は、MTDLP基礎研修を修了していること  
※この発表は「10.事例報告」の履修対象となります。  
※「8.事例検討方法論」を履修されていない方は、「9.事例検討」の履修はできません。
6. 準 備 物:発表者:抄録(事例の概略やMTDLPの経過をまとめた抄録)・・・A4で1枚(①事例のテーマ②基本情報(事例紹介)③作業療法評価④作業療法計画(介入の基本方針)⑤介入経過⑥結果⑦考察・今後の課題や方針)一般情報シート、生活行為向上マネジメントシート 生活行為課題分析シート、生活行為申し送りシート(※使用した場合)  
※準備物の締切:令和8年2月13日(金) 発表者には改めて提出先を連絡します。  
聴講者:MTDLPマニュアル(お持ちの方)、事例報告作成の手引きをご用意ください。  
※事例報告作成の手引きは日本作業療法士協会のホームページよりダウンロード下さい。  
※積極的にディスカッションをして頂くことで、「9.事例検討」の履修となります。
7. 申し込み締め切り 発表者:令和8年2月6日(金) 聴講者:令和8年2月13日(金)  
※発表者不在の場合は開催を見送る事があります。開催の最終決定は2月7日以降判断します。
8. 申し込みURL:<https://forms.gle/XqSBRryYif2PG71H8>  
※申し込みの際に、発表者、聴講者のいずれかを明記してください。  
※申し込みの際に会員証を添付して下さい。添付のない場合、非会員扱いとなります。
9. 参加費支払い方法:パスマーケット ※パスマーケットの案内は開催が決まり次第、申し込み時に入力されたメールアドレス宛に送信致します。(支払い期間:2025年12月23日~2026年1月29日)
10. 参加費:発表者:無料 聴講者:山口県士会員 会員500円 非会員2,500円
11. 生涯教育ポイント:協会規定に沿って付与  
(発表者:4ポイント 聴講者:2ポイント 現職者共通研修9、10履修者:付与なし)

#### 申込用QRコード



問い合わせ先:一般社団法人 巨樹の会 下関リハビリテーション病院  
リハビリテーション科 山田 晃基 TEL:083-228-6600  
E-mail: [rehaka@shimoreha.jp](mailto:rehaka@shimoreha.jp)

当日の連絡先:050-3199-1570  
※研修会場へのご連絡はお控えください。

以上

## 山口地区勉強会のご案内

今年度も、地域リエイブルメント推進委員会と共催で山口地区勉強会を対面にて開催することになりました。

内容は「地域で活かす認知症アセスメント—認知機能が低下しても暮らしを支える視点とは—」として、山口市、防府市で行われているケアマネージャー同行訪問アセスメントをベースに、認知機能が低下した方の地域生活をどう支えるかを考える会にしたいと考えています。地域事業に出務している方だけではなく、病院や施設の皆様のご参加もお待ちしています！

1. 日 時：令和8年2月10日（火） 19:00～20:30
2. 場 所：山口コ・メディカル学院
3. 対 象 者：山口県作業療法士会会員（山口地区以外からの参加も可能です）
4. 内 容：予定
  - ①認知機能低下の理解と地域生活への影響
  - ②認知症アセスメントの実際（協会資料の紹介）
  - ③地域で暮らす認知症の方のアセスメント（事例紹介）
  - ④グループワーク

話題提供者 山口県立こころの医療センター 石原 弥生 OTR 他
5. 参 加 費：無料
6. 申込方法：Google フォームより申し込み  
<https://forms.gle/BFMRAmaKWcGHHVDJA>



7. 申込〆切：令和8年2月8日（日）18:00まで
8. 注意事項：対面研修のため当日、**日本作業療法士協会**と**山口県作業療法士会**の**会員証**を提示していただきます。忘れないように持参してください。
9. 問合せ先：地域リエイブルメント推進委員会 原 直利  
 E-mail：[nhara.ygmc@gmail.com](mailto:nhara.ygmc@gmail.com)

山口地区別勉強会担当  
吉南病院 西田 恭平



# 令和7年度 宇部・小野田地区 地域リエイブルメントフォローアップ研修

1. 日 時: 令和8年2月25日(水) 19:00~20:30
2. 形 式: 対面
3. 内 容:

- 1 近隣市町の地域支援事業について
- 2 同行訪問アセスメントと宇部市短期集中予防サービス(hope)の概要について
- 3 事例提示: 同行訪問アセスメントから通所Cへのバトン
- 4 事例検討

4. 参加費: 無料 ※基礎研修ポイント1ポイント付与
5. 場 所: YICリハビリテーション大学校
6. 申込方法: 下記URLまたはQRコードからお申し込みください。

申し込みはこちら 

<https://forms.gle/vZtFtz5uPT45n2ei9>



自分と向き合う90日  
**hope**

宇部市短期集中予防サービス

『hope』って知ってる?  
やってみてよかったよ!  
みんなも知った方がいい!



7. 申込締め切り: 2月20日(金)
8. 問合せ先: TEL 0836-51-9461(宇部中央病院 天野真理子)  
メールアドレス [yot.kyouiku.am@gmail.com](mailto:yot.kyouiku.am@gmail.com)

## 他団体主催の研修会案内

### 第17回 維新リハビリテーション研究会 開催のお知らせ

平素より当研究会にご支援頂きまして誠にありがとうございます。  
第17回 維新リハビリテーション研究会を下記の通り実施致します。要項をご一読のうえ、下記QRコードより参加案内希望のご登録をお願い致します。ご登録頂きましたアドレスに当日の案内をお送りいたします。前回の募集にてご連絡を頂いた先生は、ご登録は不要です。

#### 記

1. 日 時：2026年2月18日（水） 18:30 から 20:00
2. 開催形式：Web（ZOOM）
3. 参加費：無料
4. 生涯教育：日本作業療法士会 基礎ポイント1ポイント
5. 内 容：脳神経外科 各論：「脳血管障害における予後予測②」18:30～19:00  
整形外科 総論：「手関節の解剖」19:00～19:30  
整形外科 各論：「手関節の疾患」19:30～20:00
6. 講 師：御書 正宏：周南リハビリテーション病院  
認定作業療法士  
梶田 芳徳：済生会下関総合病院  
認定ハンドセラピスト 認定作業療法士 骨粗鬆症マネージャー
7. 注 意 点
  1. 参加証明書配布のためインターネット環境下のPCで参加をお願いします。
  2. 1名につき1つのアドレスでご登録下さい。
  3. 病院、施設などのアドレスは避け、個人のメールアドレスをご登録ください。
  4. 複数人での視聴は可能ですが、ポイントはご登録のアドレスの方のみとなります。
  5. 講義中に提示したスライドなどの資料配布はありません。
8. 問い合わせ先  
維新リハビリテーション研究会 森脇 善幸（もりわき よしゆき）  
メールアドレス：[ishin.rehabili@gmail.com](mailto:ishin.rehabili@gmail.com)

以上



# 令和7年度 地域リエイブルメント推進事業人材育成 研修報告

## 「行動変容を支える OT ～ 地域理解と動機づけ面接の実践～」

令和7年12月20日（土）  
山口南総合センター

地域リエイブルメント推進委員会では地域で活躍できる OT の人材育成を年3回に分けて、ステップアップ形式で研修を開催しています。

今回は第2弾として、昨年度、好評だった「動機づけ面接」をテーマに1日じっくりと学べる研修を開催いたしました。対象者の思いや価値観を尊重し、行動変容を支えるスキルを磨きました。

《参加者の声》



サンライズ21  
PT 尼崎吉樹氏

今回初めて OT の勉強会に参加させて頂き、PT の勉強会では体験できないグループでのディスカッションをする事が出来ました。  
リハビリでは信頼関係が重要であり、その方法の一つとして会話の大切さ、話し方を再認識しました。  
今回学んだ「行動変容」については、相手が「変わりたい事」や「迷い」を自分自身で認識し、自分の言葉でどうしたいか動機づけする流れを学びました。ポイントとして是認が重要であり、否定的な発言、答えの押しつけは避ける必要があることを理解しました。普段、利用者さんとの会話の中で、すぐに答えを説明する事がある為、今後注意し対応していきます。  
またコミュニケーションでは他にも共感、協同など普段何気ない会話が会話の技術として高度なことをしている事に気づきました。  
今回ポイントをわかりやすく説明していただき、意識する点が明確になりました。今後仕事で実践し自分の言葉で是認や要約を行い、利用者さんのモチベーションをアップさせていきます。



訪問看護ステーション  
みなみかぜ  
OT 鵜池はるか氏

地域支援に興味があり、参加させて頂きました。動機づけ面接について勉強したのは初めてでしたが、演習も多く、内容は頭に入ってきやすかったです。動機づけ面接のスキルについては、今まで何気なく臨床で使用していたものもありましたが、いざ意識すると演習の際、何を話して良いかわからなくなる場面もあり、繰り返し意識して使用していくことで精度があがるのではと思いました。是認大切ですね！今後臨床で活用していきたいです。



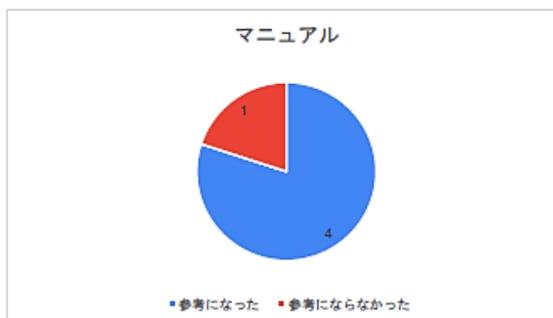
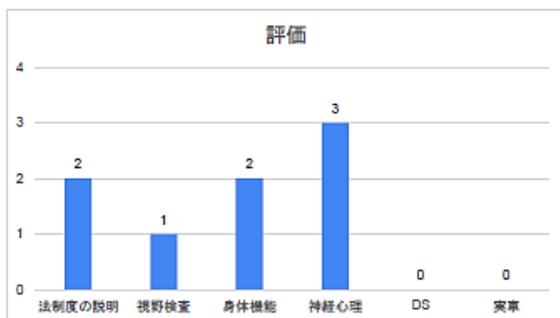
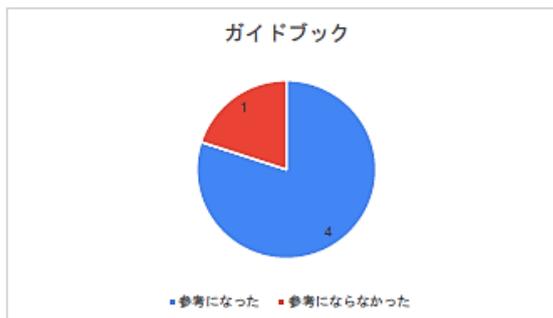
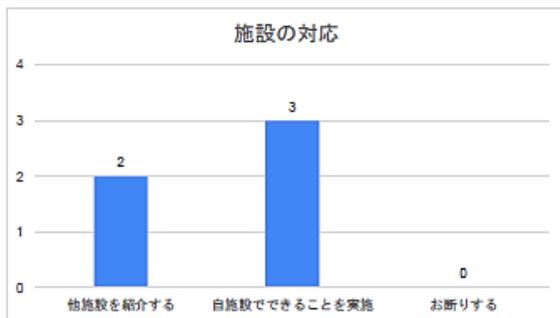
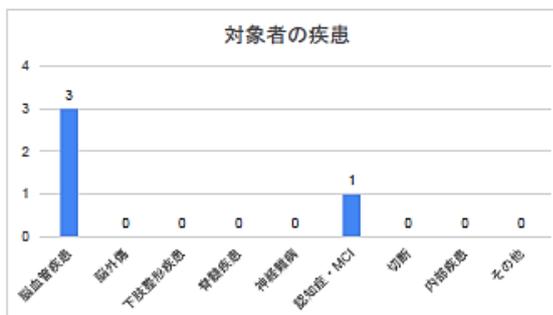
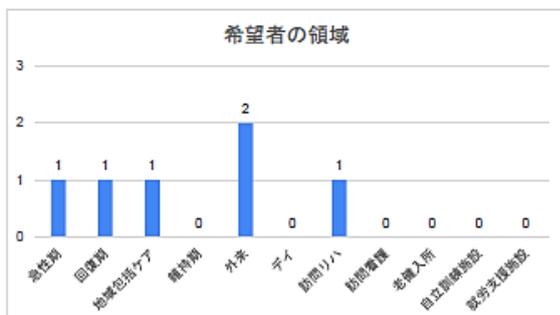
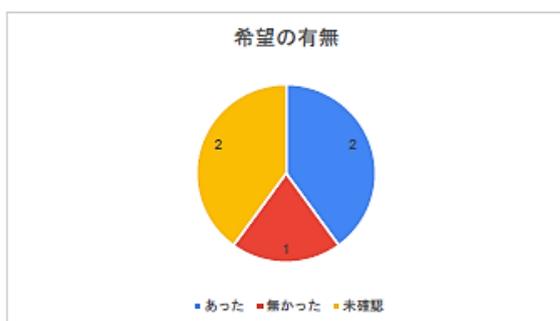
# 部会・部局より

## 運転と地域移動支援委員会だより ～施設状況アンケートの結果④～

昨年11月号より、各施設にご協力いただいているアンケート調査結果の開示を行っています。地区ごとに案内しており、これまでに3地区の結果をお伝えしてきました。

ご自身の地区の状況や他の地区の状況など、参考になさってください。今回は、萩長門地区です。

【萩長門地区】 回答：5件/14施設 (35.7%)



※それぞれの傾向については、回答率が低く単純に前回結果との比較が行えないため、最後に全体のまとめとして案内できればと思います。

※いったん8月末時点の結果をお伝えしていますが、全体の回答率が32.6%ですので、引き続き回答のご協力をお願いできればと思います。

※アンケートの対象は、会員所属施設（全218施設）としています。

※回答したかどうかわからないという施設の方は、重複しても構いませんので、回答をお願いします。

※他県では、がん患者や介護保険領域での運転支援報告や精神科領域の取り組み、行政事業での相談事例等、少しずつ運転支援に関する報告の領域も拡大している様子があります。また、山口県においても他団体の取り組みではありますが、総合支援学校へのサポートなども報告されています。今後の事業計画にも参考にさせていただけたらと考えていますので、引き続き回答のご協力をお願いいたします。

回答フォーム

<https://forms.gle/dqBErEbhM1ps5Xv87>

QRコード



## 「2025 県内進学・仕事魅力発信フェア in やまぐち」活動報告

進学・仕事魅力発信フェアに参加しました！



日 時：令和7年12月18日（木）10：00～15：00  
場 所：維新大晃アリーナ（維新百年記念公園・スポーツ文化センター）

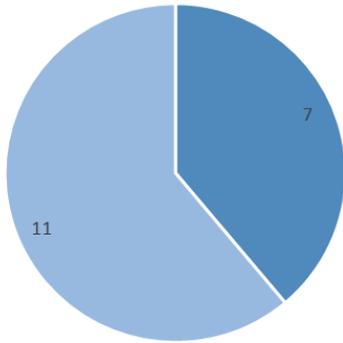
開催趣旨… 県内高校生に、県内の大学や専門学校、さらには仕事や企業の魅力を伝え、山口県の魅力を再発見・再認識してもらうことにより、県内進学・県内就職を通じた地域産業を支える人材の育成及び地域の活性化を担う若者の県内定着の促進を図ることです。

今年度も熱いバッションを持った上岡さん・笹川さん（山リハ）、高田さん（宇部西リハ）、奴田原で県内高校（1年生）に作業療法士の魅力を全力でお話させていただきました。会場には県内各地から1900人程の学生さんが参加されていました。例年と比較してブースを訪れる学生さんは18名と少なかつたように感じますが、「作業療法士に興味があります。」と話してくれる学生さんも“ちらほら”… 作業療法を知ったきっかけについて「中学時代の職業体験がきっかけです。」と話してくれた方が3名程いました。改めて若い世代への啓発活動の必要性を感じた次第です。活動を通して、作業療法の実践的な話をする中で自己の臨床を振り返る点検の機会につながったと感じています。

山口県作業療法士会 広報部  
山口県立こころの医療センター 奴田原 脩一

\*ブースに来てくれた学生さんにアンケートの協力を得ましたので、以下に掲載します。

①性別



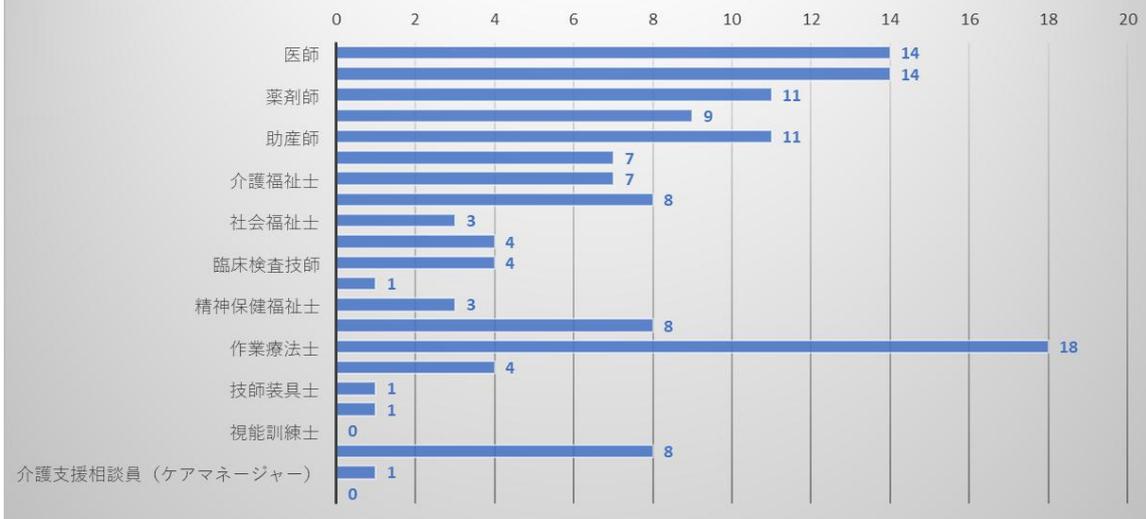
■ 男性 ■ 女性

②職業を選ぶ際に一番重視していることは何ですか？

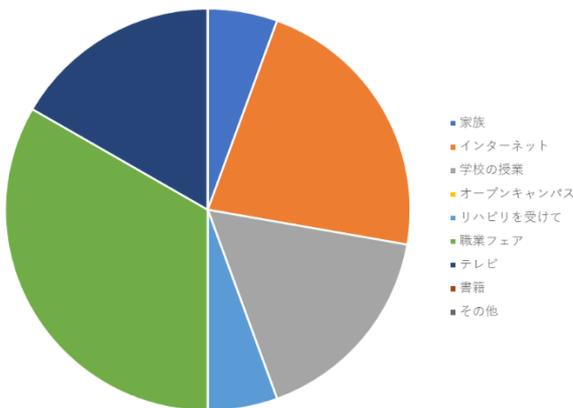


■ 仕事内容(やりがい) ■ 勤務場所 ■ 給与 ■ 勤務時間(曜日) ■ 職場の雰囲気  
 ■ 通勤時間 ■ 雇用形態 ■ 残業時間 ■ 福利厚生 ■ その他

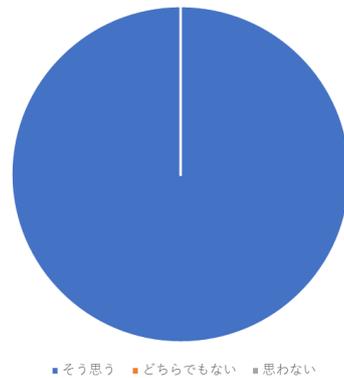
③医療・福祉の中から知っている職業について選択してください(複数回答可)



④作業療法士という職業を最初に知った方法



⑤作業療法士の仕事内容を聞いて興味や関心が持てましたか？



■ そう思う ■ どちらでもない ■ 思わない

# 事務局より

## 着文書

(R7.12.10～R8.1.5)

＜他県士会ニュース＞

新潟県 ニュース No29

兵庫県 ニュース No88

愛知県 ニュース No.200

長野県 ニュース No.242

秋田県 ニュース Vol.42-No.3

北海道 ニュース 第183号

＜冊子＞

山口県理学療法士会 第34回山口県理学療法  
学術大会

山口県言語聴覚士会 第11回山口県言語聴覚  
学会プログラム抄録

## 財務より

正会員の方へ本年度お送りした振込用紙は、すでに使用できません。

会費の納入がまだの方は、郵便局の振込用紙を利用して至急振込をお願いします。

郵便局からお振込の方は指定の振込用紙に金額8,000円と記入し振り込んでください。

・会員証が届くまでは払込受領証を必ず保管しておいてください。

郵便振替口座 口座番号：01590-5-11556  
加入者名：山口県作業療法士会

お問い合わせ先：山口県作業療法士会事務局  
TEL：083-920-0171

＊職場の異動などがある場合、振込用紙に変更事項の記入だけでは会員データが更新されません。異動届の提出をお願いします（県士会のホームページからも変更出来ます）。

現在1年会費未納で会員資格喪失となります。早急のお振込みをお願いします。

## 施設情報

(R7.12.10～R8.1.5)

＜新規施設＞

高森福祉会居宅介護支援事業所

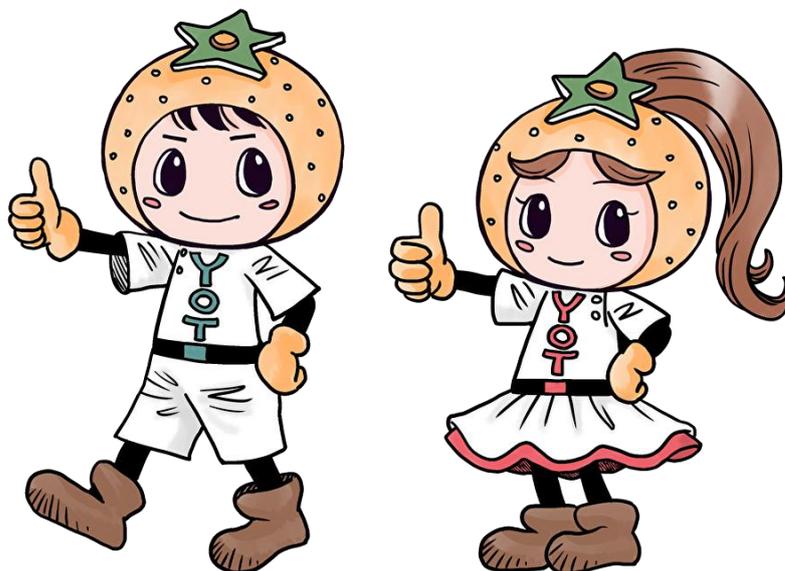
〒742-0341 山口県岩国市玖珂町 3813-6

TEL:0827-82-6900 FAX:0827-82-0736

＜不在籍施設＞

(周南地区) えむデイサービス

(岩国地区) 岩国市岩国第一地域包括支援センター



## \* 会員名簿配布について

会員名簿は、希望のされる施設・自宅会員の方のみへの配布しております。  
 来年度の会員名簿の配布を希望される方は、下記 URL、QR コードよりお申してください。  
 今年度配布を受けた施設も再度の連絡をお願いします。

※回答締切日：R8 年 2 月末日

なお、会員在籍施設一覧は、次年度も作成して全施設に配布いたします。  
 配布は 7 月頃の予定です。

URL：<https://forms.gle/3H8gwmdY6avSMmWD9>

QR コード：



## \* それっっちゃやまぐち 施設送付について

令和 8 年度のそれっっちゃ送付希望施設の登録を行います。  
 本年度送付登録されている施設も再度の登録をお願いします。  
 送付を希望される施設は、下記 URL、QR コードより、送付希望のご回答よろしくお願いたします。

※回答締切日：R8 年 2 月末日

URL：<https://forms.gle/nXYgMSy8SJrU8vuD7>

QR コード：



## 【重要なお知らせ】



～事務局より配信に関するご連絡～

皆様に登録していただいているアドレスに県士会より情報配信しておりましたが、スパムメールと判断されるなど送信エラーが発生し、皆様に情報をお届けできない状況が発生しております。  
 その為、この度、下記の配信専用アドレスからの配信を行うこととなりました。

**配信専用アドレス** [ymgc-ot@y-ot.jp](mailto:ymgc-ot@y-ot.jp)

配信メールが迷惑メールボックスに入らないよう、ご注意ください。

また現在、様々な状況に対しての対策を含め検討中です。今後、配信方法に変更があった場合にはお知らせいたします。ご確認の程、どうぞよろしくお願いたします。

話のネタの  
豆知識!

# しっちよる?



2月は「節分」。「豆まき」を予定している施設や家庭も多いのではないのでしょうか?

そもそも「節分」とは本来、「季節を分ける」つまり季節が移り変わる節日を指し、立春・立夏・立秋・立冬それぞれの前日に、1年に4回あったものでした。ところが、日本では立春は1年の始まりとして、とくに尊ばれたため、次第に節分といえば春の節分のみを指すようになっていったようです。



節分に行う豆まきは、季節の変わり目に起こりがちな病気や災害を鬼に見立て、それを追い払う儀式です。宮中で節分に行われていた「追儺（ついな）」という鬼払いの儀式が広まったものです。鬼を払うのに豆を使用するのは「魔を滅する＝魔滅(まめ)」の語呂にも由来します。※諸説あり。

正しい豆まきのやり方は・・・

1. 日暮れまでに福豆(炒った大豆)を用意し、枡(ます)や三方(さんぼう)に入れて、神棚(なければ目線より高い場所)にお供えします。  
※鬼は丑の刻(深夜2時～4時)に来るので、夜の8時～10時に行うといいでしょう。
2. 玄関、ベランダ、窓などすべての戸を開け放します。
3. 奥の部屋から順に「鬼は外!」と言いながら豆をまき、鬼を外に追い出します。
4. 鬼を締め出したら鬼が入ってこないように、また福を逃がさないようにすぐに戸締りをします。
5. 「福は内!」と言いながら部屋の中に豆をまきます
6. 豆まきが終わったら豆を拾い集め、年齢の数(または年齢の数+1個)の豆を食べます。  
(数え年で数える)

皆さんも節分の日には恵方巻を食べて、豆まきを行い、「無病息災」を願ってみてはどうでしょうか?



## 記事の掲載依頼について

☆ 原稿締め切り日は定例で毎月第2日曜日としております。(変更の場合あり)  
 次回3月号(No.362)は令和8年2月8日が締め切りで、発行日は令和8年2月1日頃です。  
 記事掲載希望の方は下記E-MAILアドレスへ送ってください。

E-mail: [yot\\_news@hotmail.co.jp](mailto:yot_news@hotmail.co.jp)

(書式はWord、フォントは明朝10.5P英数字は半角でお願いします。)

\*編集の都合上、レイアウト等一部変更させて頂くことがあります。ご了承ください。

☆ ニュースに対するご意見、ご感想をお待ちしています。

<県士会ニュース編集委員会> 編集委員長: YICリハビリテーション大学校 石丸 拓也  
 (TEL) 0836-45-1000 (FAX) 0836-45-1010



山口県作業療法士会  
LINE公式アカウント



山口県作業療法士会  
公式Instagram



それっちゃんデジタル版

### 【編集後記】

皆さんお元気ですか？

私は年末からの体調不良が回復し、ようやく平常運転に戻ることが出来ました。

何をするにも体が資本だと思つづく思います。

仕事も大事、仲間も大事、家族も大事・・・

でも自分が整っていてこそ他を大事にできる。

今年はそんな一年にしたいと思います。

文責: 石丸



月1回発行

- 発行: 山口県作業療法士会 ニュース編集委員会
- 編集担当: 石丸 拓也 (専門学校 YICリハビリテーション大学校)
- 山本 隆次 (医療法人 愛の会 光風園病院)
- 吉長 卓真 (医療法人社団 宇部中央病院)
- 鍵本 州英 (介護老人保健施設 寿光園)
- 岡本 春奈 (リハビリデイサービスプラスワン)

- 印刷所: 社会福祉法人山口県コロニー協会経営 ワークショップ・山口 コロニー印刷



《一般社団法人 山口県作業療法士会 事務局》  
 〒753-0851 山口県山口市黒川 2572-1 メゾン西京 103

事務 児玉・岡崎(TEL/FAX: 083-920-0171 E-mail: [ymgc-ot@ymgcot.onmicrosoft.com](mailto:ymgc-ot@ymgcot.onmicrosoft.com))

Web: <http://www.y-ot.jp/>